



平成26年 台風19号の被害状況

謹啓。今年は秋の訪れが早く、長引く残暑と言う辛さから早くに解放されました。しかし全国各地で雨の被害が出ております。皆様のお住まいの地域は如何でしょうか。お伺い申し上げます。

過日の十九号台風では、頭の上でジエット機が飛ぶような音が鳴り響き、

平成十六年の二十三号台風以来初めて、境内の大きな楓の木が倒れてしまいました。とても強い風が吹き荒れて、二十三号台風の時もそんな音が始まりの合図で、一晩中吹き荒れて朝には辺り

一面別世界でした。私はその頃寺の下に住んで居りましたので、朝一番に上がろうとしたところ、土砂で道が塞がれとても上がる状態ではなく、寺は大丈夫かと不安が募るなか、大きく崩れて山水が噴き出して道を分断していける向こうに、父の昭眞が重機に乗つてそこまで降りて来ていて、川を挟んで顔を見た時には、ああ、無事だったと。涙が出そうになつたものでした。

あれから約十年過ぎました。

全国の世話人様から毎年椿の苗木や花の苗を送つて頂いたり、職員が近所の人から崩れた崖に貼り付ける「竜の鬚」という苗を分けて貰つたり。一から出直しでした。また、閻魔様をお祀りしているお堂の横の崖が崩れて樹

手すりを直撃しました。手すりの前にはお地蔵様や稚児大姉様が並んでお祀りしておりますが、どの仏様もご無事で後十センチと言うところで、奇跡のような光景でした。今回又、同じ事が起きました。

前回と同じ方向に倒れた木は稚児大姉様の横を掠めもせず、どの仏様も全くご無事でした。不思議なことも在るものだな。と、翌朝境内を歩きながらつづく思いました。

今年の八月。広島で大災害が起ころ何日か前に、兵庫県の篠山で多くの御寺院様が集中豪雨の被害で本堂に土砂が流れ込み庭もお墓も、すっかり土砂が覆い尽くし、酷い状態で大変お困りでした。一ヶ寺様だけでなく地域一帯の全ての御寺院様で同じ事が起つたのです。何処様とも山の中腹に位置するお寺様で「お寺が土砂をせき止め、民家まで流れなかつたんだ」と、何時も成相寺でお世話をなつてゐる清園寺様が仰つて居られました。写真やビデオを見せて頂き、本当に驚きました。お寺の本堂が、まさしく山からの土砂をせき止めて居られました。

者様であり、又本山の援助です。途方もない金額が必要になります。

成相寺も十年前は、多くの世話人様に助けて頂き、なんとか復旧を遂げられ、今現在に至つて居りますことは、有難く、改めて心より御礼申し上げます。

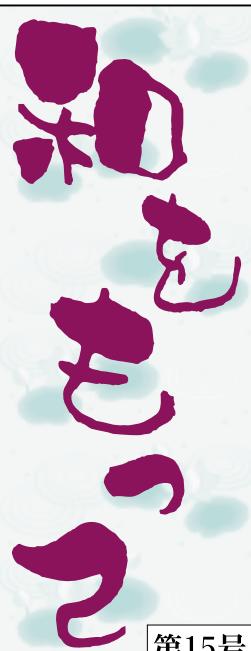
これから先、どのくらいの災害が大事な物や命を奪つていくのかと考えるだけでも、空恐ろしくなりますが、やはり、一番大事なのは自身の心身の健康であつたり家族の絆であると考えます。それらが、何か事が起ると、支え、助けてくれるのであります。

そして、家族一人一人の心の支えになつてくれるのが、信仰であると思ひます。

私達の信仰する観音様は無理難題の原理主義や略奪とは全く無縁の仏様です。手を合わせ、静かに願うと応えて下さいます。幸せです。

全国で被害に遭われた方々にお見舞い申し上げますと共に無念にも命を亡くされた方々のご冥福を心よりお祈り致します。

災害のお見舞いを  
申し上げます



第15号

## 発行 成相山成相寺

京都府宮津市字成相寺339  
TEL0772-27-0018  
<http://www.nariaiji.jp/>



平成16年 台風23号の被害状況

樹齢三百年は超えてい  
る大木ですが、十年前  
にも大きな枝が折れてい  
ました。永らく参拝  
者の皆様や寺の者達を  
見守ってきた木が切ら  
れて行く姿は、無性に  
悲しく悔しかったのを  
思い出します。

今回倒れた楓の木も、  
樹齢三百年は超えてい  
る大木ですが、十年前  
にも大きな枝が折れてい  
ました。永らく参拝  
者の皆様や寺の者達を  
見守ってきた木が切ら  
れて行く姿は、無性に  
悲しく悔しかったのを  
思い出します。

こういった、大きな災害が起きます  
と、やはり頼りになるのは檀家様や信  
頼するお寺様です。

南無觀世音菩薩

山主 弘眞  
合掌